2026年９月期　決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　株式会社デコルテ・ホールディングス　上場取引所　東
コード番号　7372　ＵＲＬ　https://www.decollte.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）新井　賢二
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経営企画室ゼネラル・マネージャー　（氏名）東向　渡　ＴＥＬ　03(5843)8618

定時株主総会開催予定日　2026年12月22日　配当支払開始予定日 －
有価証券報告書提出予定日　2026年12月18日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	6,694	10.7	606	105.6	502	152.8	288	97.9	288	97.9	287	97.8
2025年９月期	6,046	8.2	294	34.3	198	60.4	145	37.1	145	37.1	145	37.1

	基本的１株当たり当期利益	希薄化後１株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分当期利益率	資産合計税引前利益率	売上収益営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	56.09	－	5.6	3.9	9.1
2025年９月期	28.42	－	3.0	1.6	4.9

（注）希薄化後１株当たり当期利益については潜在株式が存在していないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	１株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	13,245	5,274	5,274	39.8	1,026.25
2025年９月期	12,322	4,982	4,982	40.4	971.68

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	1,810	△822	△381	935
2025年９月期	1,366	△264	△994	329

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	親会社所有者帰属持分配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2026年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2027年９月期（予想）	－	0.00	－	0.00	0.00		－	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,639	14.1	690	13.9	563	12.3	373	29.6	373	29.6	68.37

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更：有
新規2社（社名）株式会社エミュ、株式会社エミュLab、除外ー社（社名）ー

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更
①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	5,670,000株	2025年９月期	5,670,000株
②　期末自己株式数	2026年９月期	530,039株	2025年９月期	542,539株
③　期中平均株式数	2026年９月期	5,136,091株	2025年９月期	5,121,691株

（参考）個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	595	△1.2	48	△28.4	△22	ー	△23	ー
2025年９月期	602	13.8	67	34.8	19	△88.4	5	△97.0

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	△4.54	ー
2025年９月期	1.02	ー

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
２．経常利益及び当期純利益の減少については、当事業年度において子会社取得のための融資を含む手数料が発生したことによるものです。

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	7,255	2,447	33.7	476.14
2025年９月期	6,107	2,465	40.4	480.92

（参考）自己資本　2026年９月期　2,447百万円　2025年９月期　2,465百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．2026年11月12日に当社ウェブサイト（https://ir.decollte.co.jp/）に決算説明資料を掲載予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結財政状態計算書 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
（３）連結持分変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（会計方針の変更） …… 11
（会計上の見積りの変更） …… 11
（セグメント情報） …… 11
（１株当たり情報） …… 13
（重要な後発事象） …… 13

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善傾向や人手不足を背景とした堅調な設備投資が下支えとなり、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。個人消費は、記録的な酷暑の影響で季節商材が好調に推移した半面、猛暑に伴う外出控えにより実店舗の客数や屋外レジャーが落ち込むなど、分野により明暗が分かれました。加えて、資源・エネルギー価格の高止まりや継続する物価高により、消費者の生活防衛意識や節約志向は依然として根強い状況にあります。また、為替相場における円安進行は一服の兆しを見せているものの、日銀の段階的な金融政策の正常化に伴う金利上昇への警戒感や海外経済の動向による国内景気の下振れリスクも懸念されており、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

ブライダル業界においては、減少が続いていた婚姻組数が下げ止まり、2024年にはわずかながら回復がみられたものの、2025年はほぼ横ばいとなり、伝統的な挙式・披露宴市場は本格的な回復には至らない状況が続いております。一方で、コロナ禍を経て結婚式に対する価値観の多様化が進み、従前のような大人数での挙式・披露宴からフォトウエディングや少人数婚などへのシフトが加速しております。

フォトウエディングにおいては、新たな結婚式のスタイルの一つとしてコロナ禍以降も市場の成長が続き、同市場に活路を見出す新規参入事業者が一時期急増しましたが、直近では競争の激化により事業撤退する事業者が散見されるなど、競争環境にも変化が生じております。

このような経営環境の下、主力業態であるフォトウエディングサービスにおいては、撮影やヘアメイク、衣装などのサービスの質を高めつつ、従前からの当社グループの強みであるWEB集客における広告宣伝費の配分の最適化や、株式会社IBJからの送客をはじめとするWEB以外の集客チャネルの多様化と強化による集客力の向上、フォトウエディングの魅力や当社の強みを伝える営業体制の底上げ、顧客のニーズを汲んで撮影の満足度を高める提案力の強化等により、撮影件数・客単価の向上を通じて引き続き業績の拡大に取り組んでまいりました。また、フォトウエディングのリーディングカンパニーとして、フォトウエディングの認知度の向上や顧客のニーズと環境に合わせた取組を進め、市場拡大に取り組んでまいりました。

アニバーサリーフォトサービスにおいては、中期経営計画に基づく事業基盤拡大の一環として、2026年４月に兵庫県内で「スタジオエミュ」を運営する株式会社エミュを完全子会社化しました。スタジオエミュの６店舗を含む全国12店舗に加え、当連結会計年度において、７月に「HAPISTAららテラスTOKYO-BAY店」、９月に「スタジオエミュ 姫路店」の２店舗を新たに出店し、店舗数を14店舗と拡大しつつ、お宮参りや七五三等のイベントだけでなく、お子様を中心に家族の大切な瞬間を形に残すフォトサービスを提供してまいりました。今後は、七五三前撮りの促進、「HAPISTA」「スタジオエミュ」それぞれのノウハウの共有、成人式撮影・振袖レンタルなど多様なニーズの獲得により既存店舗の収益力を強化しつつ、出店やM&Aの活用により事業基盤の拡充を進め、特に顧客層の厚い大都市圏およびその周辺地域での店舗展開を強化してまいります。

当連結会計年度の経営成績は、フォトウエディングサービスにおいて、衣裳のアップグレードやアルバム販売の促進、広告宣伝の最適化、他社からの送客提携拡大による集客チャネルの多様化、接客品質向上による成約率の改善などの取り組みや、アニバーサリーフォトサービスにおいて完全子会社化した株式会社エミュの貢献などにより、売上収益は前年同期を上回りました。費用面では、前連結会計年度に発生した原状回復工事に伴う店舗修繕費などが減少したものの、株式会社エミュの株式取得に関する支払手数料の発生、集客拡大に伴う広告宣伝費の増加、各サービスにおけるスタジオ新店出店に伴う初期費用の発生などもあり、前年同期に比べ増加しました。これらの結果、売上収益は6,694百万円（前期比10.7%増）、前年同期に比べ648百万円増加、営業利益は606百万円（同105.6%増）、前年同期に比べ311百万円増加しました。また、親会社の所有者に帰属する当期利益は288百万円（同97.9%増）、前年同期に比べ142百万円増加となりました。

また、当社グループの経営方針・経営戦略等又は経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標としている調整後営業利益は、当連結会計年度において1,201百万円となり前期比29.5%の増益となりました。

セグメントレベルの概況は以下のとおりです。

＜スタジオ事業＞

当連結会計年度のセグメント業績は、売上収益6,668百万円（前期比10.8%増）、セグメント利益609百万円（91.4%増）となりました。

・フォトウエディングサービス

前連結会計年度に開店した「スタジオAQUA宇都宮インターパーク店」が期初から収益貢献したことに加え、2026年６月に静岡県浜松市に「スタジオAQUA浜松店」を新規に出店したこと、また、既存店においても顧客のニーズに合わせた提案力強化などに取り組んだ結果、撮影件数は前年同期に比べ0.9%増加、撮影単価は前年同期に比べ6.5%増加したことにより、売上収益は前期に比べ404百万円増加し、6,110百万円（前期比7.1%増）となりました。

・アニバーサリーフォトサービス

前連結会計年度に開店した「HAPISTA COMMONS立川立飛店」が期初から収益に貢献したほか、2026年１月に出店した「studio Ashery TOKYO」も第２四半期から収益に貢献しました。2026年７月には千葉県船橋市に「HAPISTAららテラスTOKYO-BAY店」をフォトウエディングサービスとの初の融合型店舗として新規に出店しました。既存店においても、「HAPISTA阪急西宮ガーデンズ店」へのstudio Asheryブランド導入（１店舗２ブランド展開）や、イベント出展による認知度向上を背景とした七五三撮影の増加などの取り組みに加えて、完全子会社化したスタジオエミュの貢献等の結果、売上収益は247百万円増加し、557百万円（前期比79.6％増）となりました。

＜その他＞

フィットネスジムにおいては、売上収益は前年同期を下回り推移しました。

当連結会計年度のセグメント業績は、売上収益25百万円（前期比11.0％減）、セグメント損失３百万円（前期は23百万円の損失）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は1,572百万円となり、前連結会計年度末に比べ763百万円増加しました。これは主に株式会社エミュの株式取得（完全子会社化）等に伴い、現金及び現金同等物が605百万円増加したことによるものです。非流動資産は11,672百万円となり、前連結会計年度末に比べ159百万円増加しました。これは主に株式会社エミュの株式取得（完全子会社化）等に伴い、のれんが264百万円、有形固定資産が228百万円それぞれ増加したものの、使用権資産が339百万円減少したことによるものです。

この結果、資産合計は13,245百万円となり、前連結会計年度末に比べ922百万円増加しました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は3,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ896百万円増加しました。これは主に借入金が313百万円、営業債務及びその他の債務が118百万円それぞれ増加するとともに、株式会社エミュの株式取得（完全子会社化）等に伴い、契約負債が260百万円増加したことによるものです。一方、非流動負債は4,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ267百万円減少しました。これは主に引当金が70百万円増加したものの、リース負債が368百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は7,970百万円となり、前連結会計年度末に比べ629百万円増加しました。

（資本）

当連結会計年度末における資本合計は5,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が288百万円増加したことによるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は39.8％（前連結会計年度末は40.4％）となりました。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は935百万円となり、前連結会計年度末と比べ605百万円の増加となりました。当連結会計年度の各活動におけるキャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは前期比443百万円増加し、1,810百万円の収入となりました。主な要因は、税引前利益が502百万円となり、減価償却費及び償却費858百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、法人所得税の支払額165百万円、利息の支払額119百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは822百万円の支出（前期は264百万円の支出）となりました。主な要因は、株式会社エミュの株式取得（完全子会社化）に伴い、子会社の取得による支出698百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは381百万円の支出（前期は994百万円の支出）となりました。主な要因は、長期借入金の借入による収入1,377百万円のキャッシュの増加要因があった一方で、長期借入金の返済による支出1,268百万円や賃貸借物件の家賃支払いなどによるリース負債の返済による支出624百万円のキャッシュの減少要因がありました。

（４）今後の見通し

2027年９月期は、円安、資源・原料価格の上昇による消費財の価格上昇等、引き続き先行き不透明な状況にありますが、当社グループは2027年９月期の業績予想を以下のとおりとしています。

（連結）　（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
2027年９月期（予想）	7,639	690	563	373
2026年９月期（実績）	6,694	606	502	288

フォトウエディングサービスにおいては、既存店売上高の向上と2026年９月期出店の１店舗の通期での貢献に加えて、２店舗の新規出店を計画、売上収益は379百万円増の6,490百万円（前期比6.2%増）を見込んでいます。

アニバーサリーフォトサービスにおいては、2026年９月期に完全子会社化した株式会社エミュの通期での貢献、2026年９月期出店のHAPISTA２店舗の通期での貢献に加えて、１店舗の新規出店を計画、売上収益は584百万円増の1,142百万円（前期比104.9%増）を見込んでいます。2027年９月期については、フォトウエディングサービスにおける出店店舗数の増加に加え、人材確保のための人事給与制度の改定や既存店強化のための改修などによる費用の増加を見込んでいます。

上記を踏まえ、当社グループの2027年９月期の売上収益は7,639百万円、営業利益は690百万円、税引前利益は563百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は373百万円となり、増収増益を見込んでいます。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2019年９月期より国際会計基準（IFRS）を適用しています。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結財政状態計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	329,696	935,662
営業債権及びその他の債権	286,175	347,349
棚卸資産	96,152	177,388
その他の流動資産	97,463	112,214
流動資産合計	809,486	1,572,615
非流動資産		
有形固定資産	1,207,750	1,436,031
使用権資産	3,943,023	3,603,331
のれん	5,635,785	5,900,413
無形資産	11,333	8,352
その他の金融資産	567,268	572,871
繰延税金資産	144,779	149,070
その他の非流動資産	3,329	2,431
非流動資産合計	11,513,270	11,672,502
資産合計	12,322,757	13,245,118

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	503,096	816,376
営業債務及びその他の債務	226,734	345,388
リース負債	613,704	659,950
未払法人所得税	89,044	195,442
引当金	36,973	－
契約負債	376,470	636,629
その他の流動負債	335,108	424,281
流動負債合計	2,181,131	3,078,068
非流動負債		
借入金	1,668,412	1,688,575
リース負債	3,098,791	2,729,803
引当金	392,174	463,149
退職給付に係る負債	－	10,623
非流動負債合計	5,159,377	4,892,152
負債合計	7,340,508	7,970,220
資本		
資本金	155,384	155,384
資本剰余金	2,732,516	2,724,220
利益剰余金	2,663,649	2,951,741
その他の資本の構成要素	－	△262
自己株式	△569,302	△556,185
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,982,248	5,274,897
資本合計	4,982,248	5,274,897
負債及び資本合計	12,322,757	13,245,118

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	6,046,172	6,694,309
売上原価	3,968,331	4,192,902
売上総利益	2,077,840	2,501,407
販売費及び一般管理費	1,646,880	1,887,432
その他の収益	7,887	16,711
その他の費用	143,986	24,551
営業利益	294,860	606,134
金融収益	10,737	18,263
金融費用	106,979	122,228
税引前利益	198,618	502,169
法人所得税費用	53,075	214,077
当期利益	145,543	288,092
当期利益の帰属		
親会社の所有者	145,543	288,092
当期利益	145,543	288,092
１株当たり当期利益		
基本的１株当たり当期利益（円）	28.42	56.09

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期利益	145,543	288,092
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	－	△262
純損益に振り替えられることのない項目合計	－	△262
その他の包括利益合計	－	△262
当期包括利益	145,543	287,829
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	145,543	287,829
当期包括利益	145,543	287,829

（３）連結持分変動計算書

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素 確定給付制度の再測定	自己株式	合計	
2024年10月１日残高	155,384	2,747,945	2,518,106	－	△589,763	4,831,671	4,831,671
当期利益	－	－	145,543	－	－	145,543	145,543
その他の包括利益	－	－	－	－	－	－	－
当期包括利益合計	－	－	145,543	－	－	145,543	145,543
新株予約権の失効	－	－	－	－	－	－	－
株式報酬取引	－	－	－	－	－	－	－
譲渡制限付株式報酬	－	△15,428	－	－	20,461	5,033	5,033
所有者との取引額合計	－	△15,428	－	－	20,461	5,033	5,033
2025年９月30日残高	155,384	2,732,516	2,663,649	－	△569,302	4,982,248	4,982,248

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素 確定給付制度の再測定	自己株式	合計	
2025年10月１日残高	155,384	2,732,516	2,663,649	－	△569,302	4,982,248	4,982,248
当期利益	－	－	288,092	－	－	288,092	288,092
その他の包括利益	－	－	－	△262	－	△262	△262
当期包括利益合計	－	－	288,092	△262	－	287,829	287,829
新株予約権の失効	－	－	－	－	－	－	－
株式報酬取引	－	－	－	－	－	－	－
譲渡制限付株式報酬	－	△8,296	－	－	13,116	4,819	4,819
所有者との取引額合計	－	△8,296	－	－	13,116	4,819	4,819
2026年９月30日残高	155,384	2,724,220	2,951,741	△262	△556,185	5,274,897	5,274,897

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	198,618	502,169
減価償却費及び償却費	838,330	858,130
保険金の受取額	－	△11,383
減損損失（又は戻入れ）	135,815	－
金融収益	△10,737	△18,263
金融費用	106,979	122,228
有形固定資産除却損	6,017	8,079
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△18,001	△11,085
棚卸資産の増減額（△は増加）	10,457	△32,531
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	38,028	78,180
契約負債の増減額（△は減少）	△1,809	130,825
その他の負債の増減額（△は減少）	110,961	64,598
その他−純額	6,215	△7,675
小計	1,420,876	1,683,272
利息及び配当金の受取額	774	2,088
受取保険金	－	409,168
利息の支払額	△100,304	△119,333
法人所得税の支払額	45,189	△165,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,366,537	1,810,014
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△180,165	△157,926
投資の取得による支出	△47,561	△28,903
投資の売却及び償還による収入	19,593	62,052
有形固定資産の売却による収入	672	35,917
資産除去債務の履行による支出	△57,090	△34,696
子会社の取得による支出	－	△698,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264,551	△822,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	－	300,000
短期借入金の返済による支出	－	△150,000
長期借入金の借入による収入	150,000	1,377,146
長期借入金の返済による支出	△475,596	△1,268,516
リース負債の返済による支出	△659,191	△624,421
その他−純額	△10,000	△16,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△994,787	△381,895
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	107,198	605,966
現金及び現金同等物の期首残高	222,497	329,696
現金及び現金同等物の期末残高	329,696	935,662

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「スタジオ事業」を報告セグメントとしています。

「スタジオ事業」は、フォトウエディングサービスの提供・アニバーサリーフォトの撮影及び写真加工、アルバム等の製作を行っています。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの会計方針は、連結財務諸表のために適用した当社グループの会計方針と同一です。

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他（注）１	合計	調整額（注）３	連結財務諸表計上額
	スタジオ事業	計				
売上収益						
外部収益	6,017,172	6,017,172	28,999	6,046,172	－	6,046,172
セグメント間収益	－	－	－	－	－	－
合計	6,017,172	6,017,172	28,999	6,046,172	－	6,046,172
セグメント利益（△損失）	318,284	318,284	△23,424	294,860	－	294,860
金融収益	－	－	－	－	－	10,737
金融費用	－	－	－	－	－	106,979
税引前利益	－	－	－	－	－	198,618
減価償却費及び償却費	829,968	829,968	8,362	838,330	－	838,330
減損損失	116,261	116,261	19,554	135,815	－	135,815
資本的支出	497,901	497,901	1	497,903	－	497,903
報告セグメント資産	12,272,824	12,272,824	28,497	12,301,322	21,434	12,322,757

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

２．セグメント利益（△損失）は、営業利益に基づいており合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しています。

３．セグメント資産の調整額には、主に全社目的のために保有される余剰資産（現金及び現金同等物）等が含まれています。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他（注）１	合計	調整額（注）３	連結財務諸表計上額
	スタジオ事業	計				
売上収益						
外部収益	6,668,508	6,668,508	25,801	6,694,309	－	6,694,309
セグメント間収益	－	－	－	－	－	－
合計	6,668,508	6,668,508	25,801	6,694,309	－	6,694,309
セグメント利益（△損失）	609,142	609,142	△3,007	606,134	－	606,134
金融収益	－	－	－	－	－	18,263
金融費用	－	－	－	－	－	122,228
税引前利益	－	－	－	－	－	502,169
減価償却費及び償却費	852,456	852,456	5,673	858,130	－	858,130
減損損失	－	－	－	－	－	－
資本的支出	259,391	259,391	5	259,396	－	259,396
報告セグメント資産	13,120,302	13,120,302	26,914	13,147,217	97,900	13,245,118

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

２．セグメント利益（△損失）は、営業利益に基づいており合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しています。

３．セグメント資産の調整額には、主に全社目的のために保有される余剰資産（現金及び現金同等物）等が含まれています。

（１株当たり情報）

(1) 基本的１株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
親会社の所有者に帰属する当期利益（千円）	145,543	288,092
加重平均普通株式数（千株）	5,121	5,136
基本的１株当たり当期利益（円）	28.42	56.09

(2) 希薄化後１株当たり当期利益

希薄化後１株当たり当期利益は、潜在株式が存在していないため、基本的１株当たり当期利益と同一です。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。